

生きいき憲法

(題字：日野原重明)



東京の九条の会をつなぐ

九条の会 東京連絡会

Contents

2018年、改憲をめぐる情勢（「九条の会」ニュース第295号より）	渡辺 治さん…… 1
特集〈3000万署名の取り組み〉	…………… 2
日の出九条の会／千住九条の会／九条の会足立連絡会／あきる野九条の会／ 葛飾教職員九条の会／城北法律事務所／東京北法律事務所／東京南部法律事務所／ 北千住法律事務所／東京法律事務所／東京東部法律事務所／代々木総合法律事務所	

2018年、改憲をめぐる情勢

九条の会事務局 一橋大学名誉教授 渡辺 治さん

（「九条の会」ニュース第295号より転載）

■ 共闘が突きつけた安倍改憲の困難

安倍首相は、年頭会見で「今年こそ」と改憲の意欲を表明しましたが、選挙を経て、安倍改憲の前には3つの問題があります。

最大の問題は時間。衆院3分の2状態は2021年までのびましたが、19年7月の参院選で3分の2をとれる保証はありません。しかもその前には天皇代替わりがあり、国民投票の運動期間を考慮すると、改憲発議は、18年通常国会、あるいは秋の臨時国会、どんなに遅くとも19年通常国会冒頭がリミットです。しかし、第2に、国民投票には絶対負けられません。国民投票は政権の信認投票のようなになる。3分の2があるからといって、戦争法や共謀罪法のような強行採決などの手法をとりにくい。しかも、第3に、総選挙の結果、公明党は改憲に一層消極的ポーズをとらざるをえなくなり、立憲民主党が野党第一党になるなど、運動次第で発議を遅らすような障害物が台頭しました。

■ 2018年に照準を絞った安倍改憲

安倍首相は今年18年の強行突破を目指し、第1にスムーズに国会発議できるよう、公明、維新など野党取り込みをめざします。

12月20日に自民党は「憲法改正に関する論点取りまとめ」を発表しましたが、ここでは、9条改憲については本命の1、2項を存置して自衛隊を明記する案と2項削除案を、また緊急事態規定も任期延長だけを認めるものと政府への権限集中を認める案を、併記しました。「右より」の案も併記することで公明党に選ばせようという魂胆です。

また、自民党は3月25日の党大会で自民党案を決定し、憲法審査会にかけられることをもくろんでいますが、その案もあくまで「中間報告」という形をとり、憲法審査会で公明、維新などの意見を入れ、改めて、各党共同提案というかたちで、「改憲原案」（改憲手続法151条）を国会に提出しようという図つ

ています。また、場合によっては、通常国会のみならず、臨時国会も使い、さらに19年通常国会冒頭までも視野に入れてなんとしても発議に持ち込もうという算段です。

■ 3000万署名で安倍改憲を阻もう！

2018年が正念場です。市民と野党の共闘をさらに広げ、かつてない市民の共同で安倍改憲を阻まなければなりません。そのためのものが、九条の会も加わった「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」であり、その呼びかけた3000万人署名です。

九条の会の活動として、大事なこと3つ。
第1は、地域毎に目標を決めて、3000万署名の運動を急いで盛り上げることです。総選挙の結果、希望や民進さらに公明党も国民の動向を注視しています。地域からの改憲NOの声を突きつけ、とても発議などできない状況をつくることです。

第2は、運動の目標を発議阻止に置き、9条改憲NOの国民の意思を集めることです。また、国民投票手続法を決める改憲手続法は、2007年に第1次安倍政権の時代に強行された悪法です。市民の運動を規制し、改憲案が可決されやすくつくられています。めざすは、発議をさせないことです。そのためにも通常国会の山場に向け3000万の声を集めることです。

第3は、安倍改憲の眼目である9条への自衛隊明記論の危険性―それは、安倍首相のいうような「何も変わらない」ところか、9条を根本的に改変してしまうということを徹底して訴えることです。世論調査では安倍政権による改憲には反対の声は強いが、9条1、2項を残して自衛隊を明記する案には、質問の仕方によってもばらつきがあり、国民のなかに、この危険性が入っています。この点を訴えて、署名をとることです。

この1年が九条の会の踏ん張りどきです。

特集〈3000万署名の取り組み〉

平和憲法・九条を守りたい！

日の出九条の会 丸山タマエさん

日の出九条の会は昨年9月末から「3000万人署名」に取り組んでいます。昨年は、「自民党改憲草案」の連続学習会を行い、現憲法の素晴らしさと自民党改憲案の恐ろしさを痛感し、平和憲法を守る重大さを確認しました。12月には小森陽一さんをお呼びして、改憲を巡る情勢や、9条3項に自衛隊を書き込むことの危険性を学びました。

私たちの日の出町は、西多摩郡にあり、駅や繁華街がありません。そこで一軒一軒のお宅を訪問し、署名への協力をお願いしています。毎日曜日、軽トラの荷台で地域を分担し、組を作って回っています。留守も多く、会えても「うちは大丈夫」「署名はやらないことにしています」「今、忙しいから」などと言われることも多くあります。

「北朝鮮や中国は勝手なことばかり。日本の防衛はどうするんだ！」と言われ、十分な答えが言えないこともあります。初めのうちは、「大丈夫！」という言葉には首をかしげ、どうしてこのお宅だけ大丈夫なのだろう？と真剣に考えたりもしました。

9条は命、愛、そして希望

千住九条の会 中田順子さん

千住九条の会では、昨年10月より署名に取り組み、ピースアクションや「戦争いやだ！ 足立憲法学習会」の署名行動に参加してきました。昨年11月5日のピースアクションでは、北千住駅頭で、スピーチ、音楽、舞踊などに足を止めてくれた方に署名をお願いし、130筆集まりました。

特に中学生、高校生が「戦争はいやだ」「9条は大切といつても先生が話してくれる」と次々と署名をしてくれ「頑張っ

一方で、「署名用紙の5人分を一杯にできなくてもいいかしら？」と迷いながら、知り合いに勧めると署名用紙を預かってくれる方や、真剣に話を聞いて「私でもいいですか？」と署名してくれる高校生、「八王子の空襲で下水に潜り、上から大人の人に布団をかぶせてもらって助かった」と話しながら書いてくれる方もいます。「苦労さま」と声をかけていただくとはっとします。

1時間半回って1筆ということもあれば、20筆以上いただいてくる組もあります。メンバーの一人は「出かけるまではなかなか気乗りがしないのよね。でも、出てくると元気が出るの」と言います。署名を頼むのはあまり得意な人はいませんが、勇気を出して頑張っています。寒さの中疲れるけれど、一回一回にドラマがあり、励まし合って回っています。

メンバーが手紙等で知り合いに頼んで集めてもらう署名もあります。何十筆も送り返してくれる方もいて喜んでいきます。日の出町の住民とは限りませんが、これも貴重な1筆です。

「ペンポン」、出てきてくれた若いパパの後ろに幼い女の子。この子の上に爆弾が落ちてこないように！ パパやこの子が戦争に引つ張られないように！ 来週もまた署名に歩きます。目標3000筆を目指し、現在1300筆に近づいたところです。体に気をつけ寒さに負けず頑張ります。

「ください」と激励してくれました。また、連絡先を教えてください。イベントに参加してくれた人もいました。

会では1500筆の目標を持ち、会独自でも行動しようと、月2回の駅頭行動、月1回の戸別訪問をすることを決め、実践中です。

昨年末の初めての戸別訪問では、インターホン越しに「千住九条の会です。9条を変えないで下さいの署名のお願いに参りました」と話すと、ドアを開け署名してくれる方がたくさんいました。「9条」が皆さんの心につかりと息づいていくことを確信できました。

今年1月3日には、会として初めての駅頭署名行動。「戦争



▲千住九条の会第14回講演イベント・トークセッション

が起こりそうで不安だ」と応じてくれた人や「9条ですよね。署名します」と若いパパさん。5歳くらいの息子さんが「ころうさん」と激励してくれました。横浜で9条の会の活動をされている方とも出会いました。

二回目の戸別訪問は、保母さんだった方が参加してくれ、地域に知人が何名もいらして、たくさん署名が集まりました。「もう某病院で院長に頼まれて署名したよ」とおっしゃる方も。インターホン越しで「よくわからないから」とおっしゃる方もドアを開けてくれ、「戦争しないと決めた9条が壊されようとしているのでお願いします」と話したら、若いママさんは書いてくれました。

先月末の駅頭行動では、「私は創価学会員だけど平和を守りたいから」と応じてくれた方も。中三の男子生徒は「どこにでも戦争に行けるようになってしまおうですね。社会科の先

生が教えてくれた。戦争は絶対いやです」と書いてくれました。また、若者が「自分の問題だから」と応じてくれました。

今月3日の駅頭行動は、若手弁護士や私もスピーチを行い、足を止め、署名に応じてくれる方が何名もいました。次回の駅頭行動では音楽も交えてアピールしようと考えています。

1月28日は中野晃一さんと諏訪原健さんのトークセッションに115名の皆さんがお越しくださいました。お二人の熱い思いが皆さんの心に響き、パワーをいただき、希望の見えたつどいになりました。会場内で、署名が20筆集まり、署名用紙を預ってくださいした方も、先日15筆届けてくれました。

沖縄の心に学び頑張り続ける

9条の会足立連絡会 五十嵐良太さん

9条の会足立連絡会は毎月事務局会を開き、区内各9条の会の活動交流を行うとともに、「戦いやだ! 足立憲法学習会」などの共同組織への積極的な参加と、区内の民主団体や労組・平和団体と共同した実行委員会形式の取り組みを行っています。

各会の取り組みとしては、千住9条の会が定期的に憲法カフェや学習会を行い、北千住駅でのスタンディングや千住地域での訪問署名活動を進めています。また、竹ノ塚駅では北足立9条の会や花畑9条の会が、それぞれ地域の新婦人や医療生協、政党支部などと共同して宣伝署名活動を行っています。江北駅で江北9条の会が、また、綾瀬駅や亀有駅では大谷田9条の会が同様の取り組みを行い、西新井駅では教職員9条の会と教職員組合が共同して、署名宣伝に取り組んでいます。

「戦いやだ! 足立憲法学習会」は超党派の組織で、9条の会や民主



▲9条の会足立連絡会 成人式で

1500筆の目標にはまだ半分も到達していないのですが、皆さんと共にがんばっていきます。私も先般TVで戦争体験を話していた近所の元町会役員だった方に署名のお願いに行くと「戦争はもうこりこりだ」と署名をしてくれ、「戦争体験を聞く会でぜひお話ししてください」とお願いすると快諾してくれました。また、先日、近所のお店で買い物物を済ませたから店主に署名をお願いしたら、「いいよ」と書いてくれました。いつでも署名用紙を持ち歩き、誰にでも声をかけていきたいと思っています。9条は命、愛、そして希望です。

団体・労組・政党が共同して、月に1〜2回、主要駅頭やショッピングセンター周辺などで署名・宣伝活動を行っているほか、中野晃一さんを講師に迎えた活動交流集会などを行っています。

実行委員会形式の取り組みとしては、一昨年から「12・8

足立不戦のつどい」に取り組んでいます。昨年の12月8日には第2回の取り組みとして、安倍内閣の危険な動きを、戦前の日本軍国主義が戦争へと突き進んだ「戦争前史と前夜」の情勢の動きに照らして、笠原十九司都留文科大名誉教授を講師に学習を深めました。

以上のような取り組みを進めつつ、まだまだ遅れている、実際に3000万を目標して署名を集める活動をどう繰り返していくか、誰もが未経験のことだけに悩んでいます。「負けない秘訣はあきらめないこと」の沖縄の心に学んで頑張りたと思っています。

「あきる野市民アクション」始動

あきる野9条の会 前田眞敬さん

3000万署名をやりぬくため、各運動体や個人が連絡を取り合って共同の運動とするために、あきる野9条の会が呼びかけて、立ち上げ会を12月16日に行いました。

原水協、教科書ネット、市民連合、新婦人、健康友の会、くらしと福祉の会、年金者組合、9条の会、個人などが賛意を示し、市議会の3会派4議員を含め16人が参加して、種々情勢論議をしました。

参加者から署名の経験や意見が次々と出されました。「よく説明すると、やってもらえる。あと4名で1000筆になる」地域の仲間が1200の目標を立てて、今200を超えた。九



▲あきる野9条の会 1月19日一斉行動

条の条文を書いて自衛隊を明記すると、とんでもないことになる」とミニピラをつくって活用している。「8月に立ち上げた市民連合と3000万署名を知ってもらおうと、秋川駅で朝宣伝を2回行い、9条だけは守っていこうと呼びかけている。知人に署名用紙を渡し、広げてもらっている」「新婦人しんぶんに乗ったミニ冊子をコピーして署名を広げている」「神社の宮司が戦争はダメと祝詞をあげている。9条守るのは保守も革新もない。大いに広げよう」とにかく輪を広げることが大切」など……。

経験交流を行ってから、署名推進のためにまず署名目標を

葛飾教職員九条の会の取り組み

葛飾教職員九条の会 星野泰良さん

葛飾教職員九条の会は、あの閣議決定（集团的自衛権行使の容認）に危機感を抱いた有志が世話人も世代交代して、2014年に活動を再開しました。そして、教職員組合、退職教職員の会と共同して、戦争法反対廃止に取り組んできました。

去年の5月3日以降は、改憲反対にシフトしています。9月に「九条の会」も参加した全国市民アクションが発足し、3000万署名が呼びかけられました。

選挙があったり、戦争法の時より困難が多いですが、退教では、会報と一緒に全会員に署名用紙と料金後納の封筒を送り、少しずつ集まってきています。また、イベントも積極的に活用しています。九条の会としては、毎月の行動後の世話人会の中で、新しい取り組みが具体化されました。

区内の連絡会もない葛飾ですが、3000万署名駅頭アクションを合同でやったらどうかということで、他の九条の会等に働きかけ、12月に第1回を行いました。7団体33名で署名69筆と、選挙などでお休みしていた各九条の会も活動再開のきっかけとなり、元気が出ました。1月2月も続いています。

また、若者に働きかける機会がなかなかないため、区主催の成人式で、練り上げたハンディーなチラシを「おめでとう」と配ると、だいたいの人が受け取ってくれました。実は自衛隊も勧誘チラシを配っていました。でも、受け取りは悪かったです（よかったです）。

決めました。戦争法廃止の2000万署名は7040筆集めたことから、その2倍の1万5000と決めました。ほかに、会の名称は「あきる野市民アクション」。署名数の進捗は参加団体・個人から9条の事務局がつかんでいく。一斉行動を行っていく。さらに参加団体・個人を増やすことなどを決めました。

一斉行動は1月には、3日、8日の成人式、19日、29日に「あきる野とうきゅう」前で、幟や横断幕を掲げて取り組んでいます。

写真は1月19日の一斉行動のあとに写したのですが、この日は12人が参加して77筆の署名をいただきました。

単独駅頭アクションでもうれしいことが、弁士の訴えに感動した人が30筆も集めてくれました。また、飛び入り参加の3人の若者がチラシ配り、署名集め、スピーチも手伝ってくれました。もちろん世話人個人として、署名用紙をいつもカバンにセッセと集めている人も。

どうすれば署名目標も達成して改憲（発議）阻止に貢献できるか、考えてみました。この闘いには引き分けはないと思います。許せば暗い未来が待っています。止めれば安倍退陣も見えてきます。この半年1年は必死に闘わなくては。

改憲発議を断念させるのは圧倒的な世論です。そのために3000万署名です。前回の1500万をどうやって倍に増やせるか、ポイントは二つ。

一つは、担い手を倍にすること。これは時間とエネルギーのいることですが、どれくらいの人に参加するかが、勝敗の分かれ目です。もう一つは、多くの中間層の人に働きかけ、獲得することです。そのためには、署名を集めたりする中で、ふつうの人、無関心な人の心にどうやって届くのか、訴え方・対話の進め方等を試行錯誤し、交流し、練り上げていく……。大事なことは、ダメで元々の気持ちで、多くの人に働きかけていくことでしょう。

世論を無視して戦争法等を強行したアベのことです。反対が多くとも発議を強行する可能性もあります。それも見据えて取り組んでいきましょう。



9条改憲阻止に向けた城北法律事務所への取り組み

城北法律事務所 久保木太一さん

本題に入る前に、どうしても確認しておかなければならないことが2点あります。

1点目。改憲発議は今年やってきます。2点目。勝負は今年の8月か9月くらいまでです。

安倍首相は、「2020年を新しい憲法が施行される年にしたい」と公言しています。そのためには、参議院選挙や天皇退位などとの兼ね合いも考えると、今年中に発議しなければ間に合いません。そうすると、改憲の発議（国会の議決）は、8月か9月ということになります。国民投票法は、改憲派が作った、改憲派のためのルールです。国民投票に泡沫の期待を持たないでください。

土俵は、改憲発議の阻止。闘いはすでにスタートしているのです。

●城北法律事務所の取り組み

情勢は極めて切迫しています。城北事務所では、大きな危機感とさらに大きな決意を抱いて、下記の取り組みを行っています。

(1) 3000万署名集め

私たちは、今回の闘いの必勝ルートは、3000万署名を集めることだと確信しています。改憲阻止で3000万もの署名を集められたら、改憲派もさすがに発議できません。署名集めのため、「事務所ニュース」という発行物に署名用紙と返信用封筒を同封して送付しました。反応はますますです。

(2) 街頭宣伝

所内の憲法委員会が主導し、池袋西口駅前街頭宣伝を行っています。立ち止まって話を聞いてくださる方を一人でも増やすため、現在、着ぐるみの導入を検討中です。

(3) 学習会への講師派遣

去年末くらいから、「3000万署名を集めるためにはどうすればよいか」というテーマで、各市民団体から学習会の依頼を多く受けます。私は、「明記するだけで何も変わらない」という安倍改憲の欺瞞を暴くとともに、改憲阻止に向けて実際に一人ひとりができる取り組みについて、学習会で話して

います。

(4) 一般向け学習会

5月11日(金) 18時30分より、「変わるべきは何か 憲法9条と北朝鮮」というテーマで、講師に共同通信編集委員の太田昌克氏をお招きし、I K E・Bizとしま産業振興プラザ

3000万署名の取り組み

東京北法律事務所 金井知明さん

東京北法律事務所では、毎年1月に発行している事務所ニュースにあわせて、顧問先や依頼者・相談者・地域のつながりのある方々に、3000万署名用紙をお送りしました。その結果、たくさんの方々にご署名をいただきました。現在、およそ100筆の署名が届いています。また、事務所の相談室や待合室にも署名用紙を置き、来所されたお客さまにも署名を記入していただくようにしています。

また、地域の女性たちが主催する憲法学習会(毎月定例)に講師として参加し、憲法9条改憲の問題点について説明し、他にも、北区のほくと医療生活協同組合が立ち上げた「3000万署名推進プロジェクト」が開催した署名推進のための学習会(1月25日)に、当法律事務所の弁護士が講師として招かれ、「憲法が果たしてきた平和の役割を考える」と題して講演を行いました。これには、ほくと医療生協の職員だけではなく、地域の患者さん・組合員など約100名が参加しました。

講演後の意見交換では、地域の方からは積極的な意見や見解がだされ、組合員からは「署名を取る時は今!」との発言があったり、また若手職員からも、多様な意見が出る学習会が今までなかったのだ、「とてもよかったです、職場の参加者でこの後、座談会をやる!」といったように、参加者が署名活動により積極的に取り組むきっかけになったと思います。

さらに、当法律事務所では、2月15日(木)に「新春セミナー」を開催し、学習院大学法科大学院教授の青井未帆さん(講師)をお迎えして、「安倍改憲で、憲法と自衛隊の関係はどうなるか」と題して講演をいただきました。このセミナーにより、憲法9条改憲の問題に対する理解が深まり、3000万署名への取り組みを推進する機会になったと思います。

(旧勤労福祉会館)にて、一般向けの学習会を開催します(裏表紙・3月以降の主な行事日程参照)。核問題の専門家から、ここでしか聞けない話をたくさん聞ける貴重な機会です。学習会の参加は、改憲阻止に向けた闘いの一環です。司会は私が務めます。皆様、ぜひご参加ください。

大田区内で目標17万筆

東京南部法律事務所 佐藤誠一さん

1. 取り組みに向けての事務所内論議

昨年9月、私も東京南部法律事務所では、「安倍9条改憲NO!」3000万人署名にどう取り組むかを議論しました。そして、2つのことを確認しました。

一つは目標です。戦争法廃止2000万人署名のとき、5000人を目標としました。そして6000人を超える署名を集約し、超過達成した経験がありました。今回は3000万人で1.5倍! それなら当事務所の目標も1.5倍の7500人だ、と大きな目標を立てました。

もう一つは、いつから開始するか、目前に総選挙があるからその後か、いいや総選挙だからこそ、考えてもらう必要があるのではないかと論議し、総選挙前からスタートすることにしました。

2. 顧客への署名のお願い

こうして10月、署名用紙を依頼者、各団体等に約6800通を発送し(切手不要の返信用封筒を同封しました)、署名への協力をお願いしました。反響は大きく、総選挙後、毎日続々と返信があり、合計23000人の署名を集約しました。

続けて毎年顧客に発送する年賀の事務所ニュースに再度署名用紙を同封し、返信を待ちました。こうしてさらに800人を超える署名を集約しました。

3. 街頭での取り組み、学習会の取り組み

事務所独自で行う街頭での署名活動は、昨年9月から1回、JR蒲田駅前で行っています。

また、当事務所の弁護士を学習会講師として「出前」する企画も進めています。その皮切りに、本年2月2日、当事務所の海部弁護士・大住弁護士を講師に、「自民党の『加憲』という改憲案」をテーマに学習会を行いました。こうした学習

会を、地域でどんどん企画して欲しいと訴えました。

4. 「安倍9条改憲NO! オール大田区民アクション」の立ち上げと取り組み

大田区では2015年、党派を超えた「戦争法反対オール大田実行委員会(略称オール大田)」が結成されました。同会では、憲法改憲に反対するため、様々な活動を行ってきました。3000万人署名の呼びかけに対しても、もちろん積極的に取り組みを始めています。

昨年末に区内の作家、宗教者、学者、医師、有資格者等の著名人14人の方々に呼びかけ人になってもらい、その呼びかけで、本年1月18日に統一署名に取り組み「キックオフ集会」を開き、正式に「安倍9条改憲NO! オール大田区民アクション」を立ち上げたのです。

この会の企画第一弾として、1月28日にJR蒲田駅西口で大宣伝をおこない、3月28日には大集会を行う予定です。今後は、さらに呼びかけ人や賛同者を増やすこと、随時、署名集約数を報告し合い、5月までに大田区内での目標17万筆を集めるため活動していく決意です。

「戦争いやだ! 足立憲法学習会」

北千住法律事務所 墨石哲彦さん

● 一点共闘

「戦争いやだ! 足立憲法学習会」は2014年8月7日に、「党派や思想信条を超えて、地域に根付いた平和を一緒に発信していこう」との提唱で発足しました。このような「一点共闘」の平和の取り組みを行うのは足立区政史上初めてです。秘密保護法、安保法制、共謀罪などの反対運動の足立区内の運動のセンターの役割を担っています。「戦争いやだ! 足立憲法学習会」は3000万人署名の提起を心から歓迎し、足立区内の個人、団体の協力の要の役割を果たしています。北千住駅や大型ショッピングモールでの街頭宣伝、成人式での宣伝などに取り組んでいます。

● 活動経験を交流(1月16日)

運動を促進するために、2018年1月16日に「3000万人署名推進 経験交流と講演会」を開催し、214人の方が参加をし、8万3445円の募金が寄せられました。中野晃

一上智大学教授の講演と各団体の経験を交流しました。「3000万人署名の成功のための活動経験・ご意見」をご紹介します。

①毎日の積み重ね、毎日行動をと思った。
②一般の人レベルでは、意外に、9条の話が入っていない。これからメディアでも出て来ると思いますが、その時に安定派に先手を討たれない様に、地道に、草の根の活動が必要（居宅訪問した上での経験です）。

③自営店内での憲法カフェ開催で改憲（＝改悪）をさせない万一、国民投票になっても否決にもつていく土台を広げていきたい。

④現状に甘んずることなくさらに経験をつみ、さらに前進するためにガンバルこととします。

⑤姪に話した時、「国民投票になったら皆反対するよ」と言われた。そんなことはないことを話しましたが、これは、意識がある人でも軽く考えていると思う。国民投票にならないためにも頑張らなければ、と思いました。

⑥署名行動での心構えで反省すべき態度を学びました。明日からの署名行動に生かします。有難うございました。

⑦3000万人署名が始まってから常に署名用紙と筆記用具を持ち歩いて22枚（100筆以上）を集めました。署名して下さった方々は、特定の政党や団体に所属したり、平和運動をしている方ではありません。ごく普通の区民の方です。そういう人々からこの署名を集めるということがとても大切なことではないかと思えます。

⑧「NEWS23」「報道ステーション」「羽鳥モーニングショー」「サンデーモーニング」「報道特集」の報告に重ねてツイ

アイデア豊かに粘り強く

東京法律事務所 岸 明弘さん

●目指せ8000筆！

東京法律事務所では、「安倍9条改憲NO！ 憲法を生かす全国統一署名」（3000万署名）を8000筆集めることを目標に掲げています。2年前の2000万署名のときは、事務所として5733筆集めましたので、それを2000筆強上回る目標です。1月29日時点での数は2837筆ですが、

ト。毎週月曜（14時～20時、時には水曜も）に新宿東口アルタ前で市民グループと一緒に小一時間、チラシ配り、3000万署名、スピーチ、うた（沖繩祈念の日6/23には「へいわつてすてきたね」（安里有生君）、8/6・9頃には「ヒロシマのある国で」、共謀罪強行の頃には「今、この時代には」とアカベラ）で発信しています。行きかう若者達には「トランプの起こす戦争に、日本の若者を出させないようにしましょう。今の憲法9条で止められます。今までの内閣は、そうしてきました。安倍首相は、それを変えようとしています。全国でやっている『9条改憲NO！憲法を生かさせよう』署名をよろしく」と声かけると、中学生や小学生も受けとりまします。戦争に動員されるのは、自衛隊だけではない。他人事でないとマンガ入りチラシを街頭で8千枚配布しています。少しでも頭に残るよう。スピーチの時は、必ず全国でやっている署名でつながり、安倍政治ノーの力になる。

●寺院などの訪問を計画

実行委員会では、署名訪問先を広げなければ3000万署名は達成できないと議論がされました。寺院、立正佼成会、天理教、キリスト教教会などを訪問したいと思っています。第1弾として区内の寺院訪問を準備しています。足立区には、本山格の寺院や触頭を務めた寺院はありませんが、西新井大師など中本寺格・小本寺格の寺院がたくさんあります。

●なんとでも3000万署名の成功を

3000万署名に取り組んで、決して容易ではないと実感しています。各地の取り組みに学びながら、何としても3000万署名を成功させるように頑張ります。

今後、2月末に4000筆、3月末に5500筆、4月末に7000筆、5月末に8000筆というペースで進めていきたいと考えています。

●取り組み内容

これまでに集まった署名は、主に事務所たより新年号（2万1500部）に同封したものの戻り分です。しかし、それもそろそろ終わりつつあります。現在も依頼者との打ち合せや街頭宣伝の際に署名を求めています。今後はそれらにより重点を置いて取り組んでいく必要があります。また、今月6日には、事務所近隣（新宿区四ツ谷地域）

の寺社9カ所に、弁護士が憲法学なら位階の講師活動や3000万署名に取り組んでいることを伝えるに行きました。「住職に資料を渡しておく」、「結構です」という反応もありましたが、「住職同士の集まりがあるので、そこで憲法のことを伝えてみる」という嬉しい反応もありました。9日には、事務所近隣の上智大学前で、受験生に向けて署名宣伝を行いました。

さらに、新宿区内の他の地域団体とも協力して署名活動に取り組んでいます。具体的には、2017年12月から、月1回のペースで、新宿西口において署名宣伝を行っています。今後の予定としては、2月9日に川田忠明さん（日本平和委員会常任理事）をお招きしての学習決起集会の開催、12日には団地（戸山ハイツ）ローラー作戦と題した個別訪問等があります。

これからも、アイデア豊かに、かつ粘り強く、署名活動に取り組んでいきます！

すみだ九条の会と 東京東部法律事務所の活動

東京東部法律事務所 坂本隆浩さん

●息の長い「すみだ九条の会」の取り組み

「すみだ九条の会」は二度と戦争をしてはならない、そのためにも憲法9条を守らなければならないという思いを持った、墨田区に居住・勤務する人々により、戦後60年目に当たる2005年に発足し、今年で13年目に突入しました。東京東部法律事務所は、会の事務局を担っています。

毎月、9日あるいは19日に錦糸町駅前にて、会を担う人たちで宣伝行動を行い、毎回20人から30人が参加し、宣伝ビラを入れたポケットティッシュを配布しながら宣伝を行っています。ハンドマイクを使つての訴えには、毎回事務所の弁護士がマイクを握っています。

錦糸町駅前宣伝では、当然のことながら3000万人署名にも取り組んでいます。午後6時からの取り組みですので、寒い今の時期のためか、署名は10筆程度しか集まらない状態です。「自衛隊明記反対」が「自衛隊反対」と受け取られないように宣伝にも注意する必要があるようです。横断幕やのぼ



▲「すみだ九条の会」宣伝行動

りを掲げて署名活動をしているのをアピールすることになりましたが、目立つそののジャンパーを着てみようなど、より多くの署名を集めるためのアイデアも出されています。

「息の長い活動を」が会設立時の合言葉でした。今年の宣伝予定も組まれています。これからも継続して地道に錦糸町駅前宣伝に取り組み署名を集めるつもりです。

●東京東部法律事務所の取り組み

東京東部法律事務所では、「すみだ九条の会」の活動だけでなく、「戦争をさせない江戸川の会」に加盟し、江東区の「憲法改悪反対・九条守れ! 『九の日』宣伝行動」に事務局が参加しています。

3000万人署名には弁護士一人あたり100筆、合計1500筆を目標に取り組んでいます。相談室に署名用紙を置き、相談者や依頼者に署名をお願いするだけでなく、依頼者への年賀はがきの送付を署名用紙の送付に切り替え、合計1666通返信用封筒を付けて発送しました。現在でも続々と署名用紙が返送され、5筆分全部に署名して返送されるも

のも多くあり、なかには署名用紙をコピーして10筆分返送してくれる人もいます。こんなことなら2枚、3枚と署名用紙を送ればよかつたかなというのが個人的な感想です。

3000万人署名を集める、憲法改悪を阻止するためには数多くの学習会が必要であるため、約50ある協賛団体(事務

地域の皆さんの取り組み

代々木総合法律事務所 水谷陽子さん

●地域に根差す法律事務所として

日々お会いする依頼者の皆さんと対話して署名をお願いするだけでなく、地元地域(渋谷・中野・杉並)の皆さんと駅頭に立ち、署名集めをしています。

さらに、署名活動に取り組み、皆さんに招いていただいて憲法カフェにも励んでいます。改憲の焦点が9条とはいえず、「そもそも憲法って何なのか」「身近な生活にどうかかわるのか」と関心を持たれる方が多い印象です。憲法が国家権力から私たち市民を守ってくれるものであること、とりわけ、身近な生活にかかわる豊かで普遍的な人権を保障していることを知っていただくと、「そんな憲法なら守りたいし、そこに書かれていることを実現したい!」と元気をだしてもらえます。元気が出ると、地域でさらに署名を集めるための作戦会議も盛り上がります。

●渋谷での取り組み

渋谷9条の会・戦争法廃止と立憲主義の回復を求める渋谷市民連合主催の「9条改憲NO! 緊急講演集会in渋谷」が昨年11月10日に開催されました。スペシャルゲストに東京新聞の記者、望月衣塑子さん、メイン講師に清水雅彦先生を迎えました。

清水先生になぜ9条に3項が加わると2項が死文化するのかわという法律学のルールや、自衛隊違憲論の議論の余地がなくなってしまうことの危険性をわかりやすくお話しいただいたことで、署名に取り組み確信を深める場になりました。また、望月さんのお話しは記者ならではの臨場感あふれるお話しでした。

衆議院議員選挙で渋谷区から立候補した立憲民主党の長妻昭さん、共産党の谷川智行さんからのメッセージもいただき、

所後援会のようなものに学習会の呼びかけを行いました。まだ学習会の講師要請は少ないものの、所内で開いた学習会には所外からの参加もあります。少ない人数の学習会でも積極的に講師を派遣することを様々な機会でも伝え、3000万人署名達成のために努力していく所存です。

党派を超えて憲法を守る一致点を確認したことも、元気づけになりました。

●中野での取り組み

中野区革新懇が主催、中野区内の五つの9条の会(9条の会、中野、南部9条の会、9条の会)が、共立友の会・9条の和、中野土建9条の会)が後援で、昨年12月1日、小森陽一先生を迎え講演会「9条改憲は戦争への道 今私たちがすべきこと」を開催しました。署名を集めながら、どう対話するか、何をどう語るのか、実践的なアドバイスをいただきました。普段違う地域で活動している皆さんの経験交流の場にもなりました。

●杉並での取り組み

昨年11月21日、「すぎなみ2017年憲法の夕べ」が開催され、渡辺治先生から、緻密な情勢分析を踏まえながら改憲の危険性を語っていただきました。また、9条の話ではありませんが、原発問題を追及するおしどりマコさんケンさんから、明るく楽しく、東電の記者会見での追及の話が始まり、ドイツの学校でまだ選挙権のない子ども達が政治や社会問題について、一主権者として自発的に学び・考えている姿に出会ったお話をいただきました。改めて日本の子どもにどんな社会を残すのか、子どもにどんな風に社会や政治にかかわってもらいたいのか考える機会になりました。

●まとめ

以上の活動を振り返ってみると、普段の宣伝署名集めでも、その起爆剤のための憲法カフェでも、大きな集会でも、この9条「加憲」がなぜ危険なのか、理屈として理解して確信をもつということと同時に、代わりにどんな社会・政治だったから素敵なのか、ちょっと楽しく考えてみられる機会になることが大事なのかな、と感じています。弁護士として、ますますそんな活動をつくっていきたいと思います。一緒に頑張ります。

●年額賛同金拠出者拡大へのご協力のお願い

当連絡会は、都内九条の会のネットワークとして、東京での九条の会運動をさらに広げ、発展させようと頑張っています。財政基盤確立のためにも年額賛同金拠出者拡大にいつそのご協力をお願いいたします。年額賛同金拠出者は、団体（九条の会）も歓迎ですが、できるだけ個人の方々にひろげてくださることをお願いします。

●春季募金のお願い

6月1日には決起集会を予定しており、現在、準備をすすめているところです。皆様には日頃から何かとご支援・ご協力をいただき、大変心苦しいのですが、決起集会の資金を賄うためにも、近々、春季募金をお願いをさせていただきます。6・1決起集会を成功させ、皆様の活動にいつそごの弾みをつけるためにも、ご協力のほど、よろしくお願ひします。

郵便振替口座：00180-6-762960

口座名：九条の会東京連絡会

●「生きいき憲法」は1部30円（送料別）で販売しております。

ご注文は東京連絡会まで

(TEL: 03-5812-4495 FAX: 03-5812-4496)

事務局からのお願いとお知らせ

●6・1決起集会のお知らせ（九条の会東京連絡会）

「戦争する国ゴメン。～この国の「異常」を正そう！～」

日時：6月1日（金）18時20分～20時30分

（開場：17時30分）

会場：中野ゼロホール（規模：1200人）

講演：中野晃一（安保法制の廃止と立憲主義回復を求める市民連合・上智大学教授）

特別企画：おしどりマコ&ケン

音楽：ヴァイオリン・ピアノ二重奏



参加費：1500円（学生500円／障がい者手帳をお持ちの方は無料）
チケットについては、3月中旬に準備してお配りする予定です。

※詳細は同封のチラシをご参照ください。

★次号のお知らせと原稿募集

55号（2018年4月下旬発行）でも、各会の活動、3000万署名の取り組み状況の記事を中心に掲載します。約600字～1100字程度で原稿をどしどしお寄せください。多くの会からのご寄稿をお待ちしております。原稿をお寄せいただく場合は、ページ数・紙面構成の都合がありますので、事前にご連絡をいただければ幸いです。

また、5月・6月の行事日程がありましたら、お知らせください。

（締め切りは4月10日）

2018年3月以降の主な日程

◆3月3日（土）13時半～（羽村市）

はむら九条の会学習会

「主権者が知っておくべき安倍9条改憲の真実」

講師：白神優理子さん

（弁護士 明日の自由を守る若手弁護士の会）

会場：羽村ゆとろぎ小ホール 資料代：500円

主催：はむら九条の会

◆3月3日（土）13時30分～（13時開場）（四谷）

「菅官房長官会見の質問で見えてくるもの

～望月記者大いに語る～

講師：望月衣塑子さん（東京新聞社会部記者）

対談：望月衣塑子さんと宗教者

会場：幼きイエス会ニコラ・パレ修道院

9階大会議室（JR「四谷駅」麹町口下車）

入場無料 主催：「宗教者九条の和」

◆3月6日（火）18時30分～（18時開場）（神保町）

戦争させない東アジアに非核・平和を！ 3・6集会

会場：日本教育会館・一ツ橋ホール

参加費：無料（会場カンパあり）

主催：総がかり行動実行委員会

◆3月7日（水）18時30分～（18時開場）（文京区）

4・7集会を成功させるため「九条の会」

第2回運営委員会

会場：文京区民センター・2A会議室

主催：九条の会 ※事前に要連絡

◆3月10日（土）18時30分～（18時10分開場）（昭島市）

「安倍9条改憲のねらいと危険性

～それをストップさせる展望は～」講演会

講師：渡辺治さん（一橋大学名誉教授・九条の会事務局）

会場：市民交流センター3階（青梅線「東中神駅」下車9分）

資料代：500円／学生無料

主催：戦争立法許さない！ 総がかり昭島市民の会

◆3月20日（火）18時30分～（北千住）

千住九条の会 第6回憲法カフェ

「安倍9条改憲論ねらい Part 2」

講師：長尾詩子さん（東京南部法律事務所）

辻田 航さん（北千住法律事務所・千住九条の

会よびかけ人）

会場：千住介護福祉専門学校5階講堂 参加費：500円（お茶・お菓子付き）

主催：千住九条の会 連絡先 090-6953-7144（中田）

◆3月21日（水・祝）（代々木）

さようなら原発3・21全国集会（手話通訳あり）

会場：代々木公園B地区（デモもあります）

11:30 出店ブース開店 12:30 開会 野外ステージ コンサート

13:30 発言 鎌田慧さん、落合恵子さん、ほか

15:00 デモ出発（渋谷コース／原宿コース）

主催：「さようなら原発」一千万署名市民の会

◆4月7日（土）14時～（13時30分開場）（北区）

安倍9条改憲NO！3000万署名達成へ「九条の会」集会

会場：北とぴあ・さくらホール（王子）参加費：無料（事前申し込み制）

※定員（1300人）になりしだい締め切り 主催：九条の会

◆4月14日（土）14時～（新宿区）

第53回新宿女性九条の会講演会

「危ない！ 緊急事態条項～ナチスの「手口」と比較して～」

講師：石田勇治さん（東京大学大学院教授）

会場：若松地域センター2階・第1会議室 主催：新宿女性九条の会

◆4月29日（日・祝）14時～（北千住）

千住九条の会第3回総会～文化イベント～

・「日本国憲法前文・第九条群読」指導・劇団民藝 前田真里衣

・ミニライブ 橋本のぶよ（シンガーソングライター）

会場：千住介護福祉専門学校5階講堂 参加費：無料

主催：千住九条の会 連絡先 090-6953-7144（中田）

★「日本国憲法前文・第九条」群読者 大募集中！★

◆5月3日（木・休）11時～（有明）

9条改憲NO！平和といのちと人権を！ 5・3憲法集会2018

会場：有明防災公園（東京臨海広域防災公園）

主催：5・3憲法集会実行委員会 共催：総がかり行動実行委員会

安倍9条改憲NO！全国市民アクション

◆5月11日（金）18時30分～（池袋）

学習会「変わるべきは何か 憲法9条と北朝鮮」

講師：太田昌克さん（共同通信編集委員）

会場：IKE・Bizとしま産業振興プラザ

主催：城北法律事務所